

あれば市内に住み続けていた
けますし、平成22年の春には
JR山陰本線（京都―園部間）
が完全複線化して、大阪などへ
も通勤しやすくなります。もし
たら、人口減少を食い止めるこ
とができます。

西村さん

でも、市内で働きたくても、
働く場所が少ないと住み続ける
ことは難しいですよ。

市長

そのために企業誘致を積極的
に進めているところです。園部
の内林町地区に「京都新光悦
村」という、先端産業と伝統工
芸が共存する新しいものづくり



▲企業などの誘致が進む「京都新光悦村」

拠点ができています。今、6社
目の企業が工場を建設されてい
ます。お2人がお住まいの八木
にも素晴らしい技術のある企業
が工場などを構えておられます
よね。誘致するのは企業だけで
はなくて、働く人にも入ってき
てもらおうと、八木駅や吉富駅
周辺で、地元の地権者の方々と
相談しながら住宅地を作る検討
をしています。人が増えれば、
市税や固定資産税の増収につな
がるということです。

それから、有るものを有効に
使うという話ですが、塩漬け土
地と言われたりする市の長期保
有地。これをいかに有効に使う
か、用途がないなら売って処分
するとか、市民の方々にも検討
委員会に入っていたら、将来を
見据えて厳正に審議してい
ただいています。

まちづくりに市民の声を

山内さん

普段の生活で私たちが行政に
対して思っていることとか、意
見や文句を自分たちの間で言い
合うことはできるけれど、なか
なか直接伝えることってできま
せん。今日の座談会みたいに、

実際に答えてもらえる機会って
あんまりないですよ。だから、
自分の思いや意見も伝えたい
と思って参加しました。



市長

ありがとうございます。

私たちも、市民の皆さん方が
思っておられることを伝えてい
ただきたいと思っています。や
はり、ニーズが明確に分からな
ければ、進むべき道も見えてこ
ない。実際のニーズに合わない
ことをやっても、施策とし
ては失敗になります。皆さん方
の成人式もそうですよね。実行
委員の皆さんと市役所の担当者
と一緒に相談をして、どんな内
容にするかを決めていく。もち
ろん、何かの代表をされている
方だけでなく、お一人お一人か
らご意見を届けていただきたい
と思っています。

昨年春には全市域で情報網
の整備が完了しました。直接足
を運んでいただけなくても、イ
ンターネットを活用して南丹市
ホームページの「南丹市政への
ご意見箱」からお伝えいただく
こともできます。特に若い世代
の方には、住み続けたいと思っ
ていただけるまちにするために
ニーズを聞かせてほしいです。

それからもう一つは、テレビ
電話を使った相談業務を始め
ています。例えば、近くの支所の
窓口からでも、本庁の専門相談
員や保健師に専門的な相談をし
ていただくこともできます。皆
さんの一番身近にある行政機関
ですので、気軽に相談してい
ただいたり、ご意見を伝えてい
だいたり、一緒に考えたり、お
手伝いしたり、してもらった
り。職員も多様なニーズに対応
できる能力をつけるために研修
し、『とりあえず市役所に行っ
たらなんとかなる』というのを
目指して努力しています。

手紙、電話、ファクス、何で
も結構です。それぞれ手段を選
んでいただけて、市民の皆さん
方の声を、まちづくりのヒント
を市役所に届けてほしいと思っ
ています。